

2016年2月15日

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」  
2016年2月決算と今後の市場見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」は、2016年2月12日に決算を行ないました。

今回の決算において当ファンドは、市況動向や、基準価額に対する分配金額などの状況を総合的に勘案し、また、分配金額を減らすことで運用を行なう資産を増やし、将来の運用成果を高めることをめざして、分配金額を引き下げることと致しました。

次ページ以降で、市況動向や今後の見通しなどについてQ&A形式でご説明しておりますので、ご一読ください。

今後とも、「ワールドサポーター」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ワールドサポーターの状況

World  
Supporter

分配金額 (税引前、1万口当たり)	2016年2月	20円
	2016年1月	40円
	2016年1月までの 設定来累積額	5,340円
2016年2月12日現在の基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり)		2,991円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

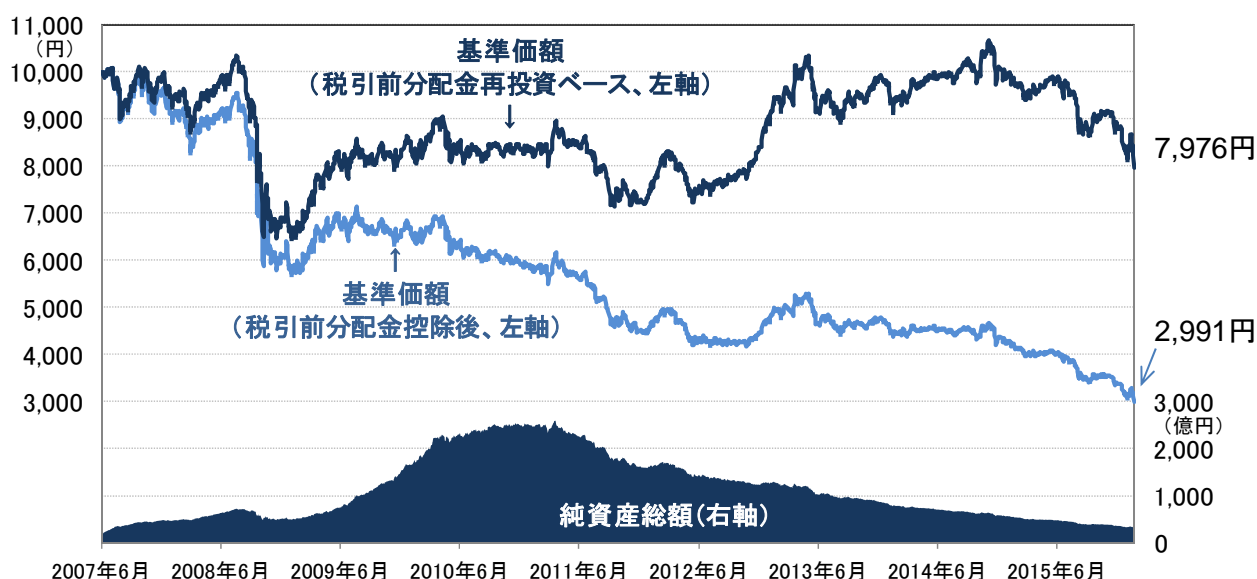
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q1.なぜ分配金額を変更したのですか

World  
Supporter

基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることや、分配金額を減らすことで期待される運用資産増加の効果などを総合的に勘案し、今後も安定的な分配金のお支払いを継続することをめざすために、今回の決算において分配金額を引き下げることと致しました。

基準価額と純資産総額の推移（2007年6月21日（設定日）～2016年2月12日）



分配金の推移（税引前、1万口当たり）（2016年2月12日現在）

2007年8月～ 2012年10月	2012年11月～ 2016年1月	2016年2月	直近1年間 合計	設定来合計
60円/月	40円/月	20円	460円	5,360円

- ※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- ※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定的な分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q2. 足元の市況動向とファンドへの影響について教えてください

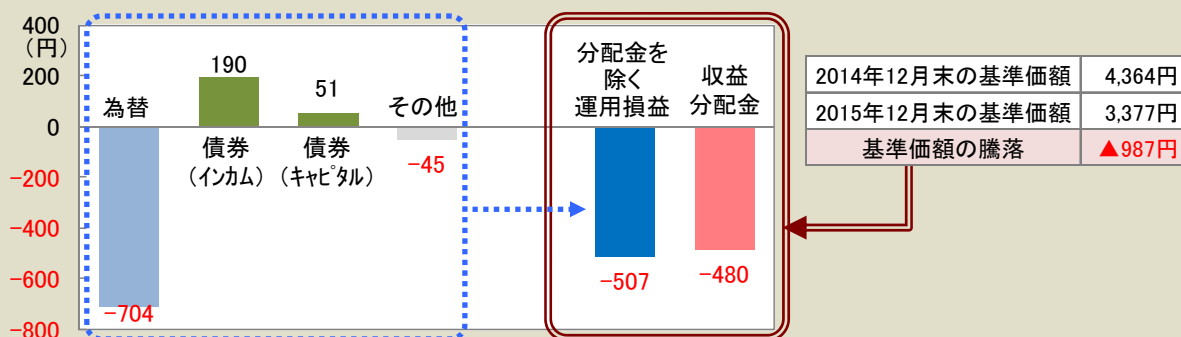
World  
Supporter

2015年は、新興国にとって厳しい市場環境となりました。商品価格の下落は資源国経済を圧迫し、世界経済の成長ペースは当初の予想を下回ったとみられます。一部の新興国では堅調な経済成長が持続しているものの、米国の金融政策動向に対する思惑などから、多くの新興国通貨は下落圧力にさらされました。

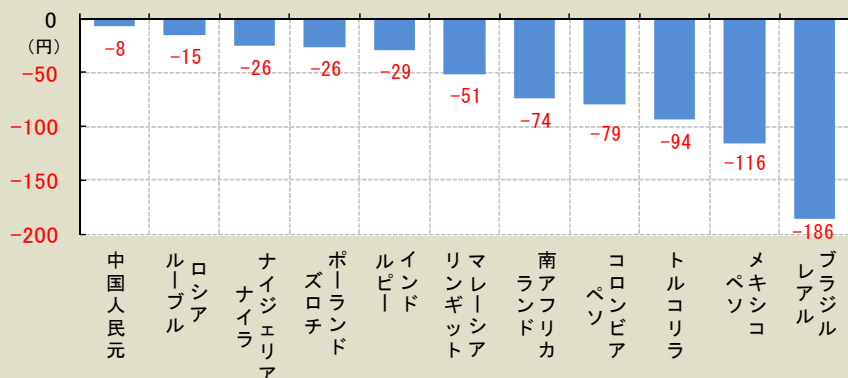
特にブラジルでは、2015年初から国営石油会社を巡る汚職事件に伴う政治的混乱が続いた後、夏以降は財政収支の黒字化目標が下方修正されたことなどを受け、同国の国債が格下げされました。さらに年末には財政再建の中心人物であったレビ財務相(当時)が辞任するなど、同国経済は想定を超えた混乱に直面し、通貨レアルは大きく調整しました。

また政治的な不透明感や地政学リスクの高まりなどを受け、トルコリラやコロンビアペソ、南アフリカランドなども大きく下落し、2015年における当ファンドの為替収益はマイナスとなりました。

基準価額騰落の要因分解 (2014年12月末～2015年12月末)



為替要因(通貨別) (2014年12月末～2015年12月末)



※ 上記要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

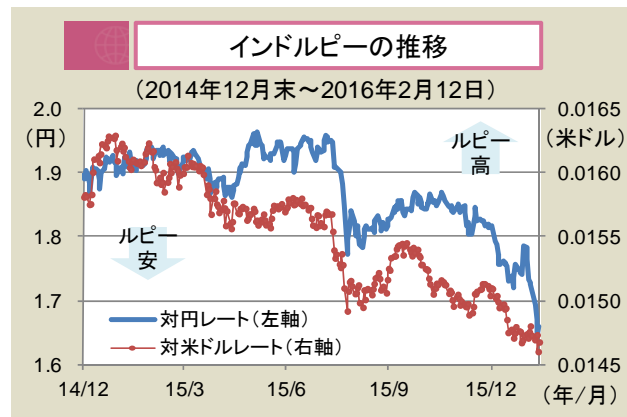
### Q3. 主な投資通貨国の状況について教えてください

World  
Supporter

インド

今後も力強い経済成長が続く見込み

- エネルギー輸入国であるインドは、近年の原油安から大きな恩恵を受けています。また、政府はかつて同国財政を圧迫していた燃料補助金を廃止するとともに、それにより生じた資金を社会インフラの構築に向けています。そのため、足元では経常赤字の縮小と、社会インフラ計画に対する直接投資の大幅な流入が続いていますが、中央銀行はこれらによる通貨上昇を容認する方針とみられます。
- 中央銀行は2015年に4度の利下げを行ないましたが、インフレ率は引き続き安定的に推移しています。同行は当面現行の金利水準を維持しつつ、これまでの利下げ効果の浸透を図るとみられます。
- 今後もインドでは力強い経済成長が続くとみており、新興国のなかでも最も堅調な国の一つになると期待されます。

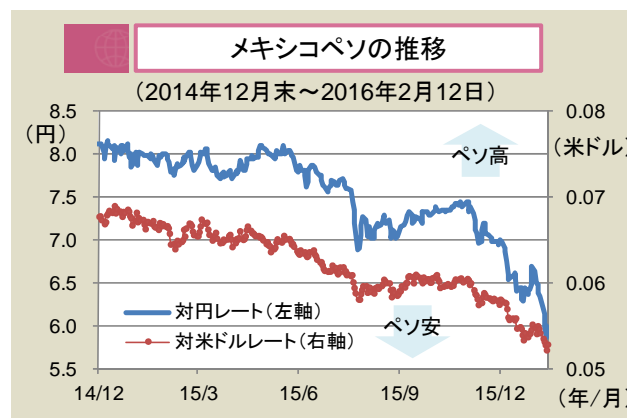


※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

メキシコ

堅調な直接投資の流入や内需が経済成長を支える

- メキシコは米国景気の回復による輸出の拡大や好調な内需などに支えられ、緩やかな経済成長を続けています。インフレ率の低下や労働市場の改善から実質賃金は高い伸びを示しており、消費者心理や個人消費の拡大につながっています。
- 昨年12月、中央銀行は米国に追随して政策金利の引き上げを行ないました。今後も米国への追随が予想されますが、賃金の上昇などを背景にインフレ率が上昇し、中央銀行がより積極的な金融政策をとり始めた場合には、市場での評価が高まるものと考えられます。
- 産油国であるメキシコは原油安の影響が懸念されるものの、製造業セクターへの直接投資は拡大傾向にあり、また海外労働者による送金額も引き続き増加が見込まれます。加えて米国への輸出拡大も追い風となり、今後の通貨上昇が期待されます。



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

(次ページに続きます)

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

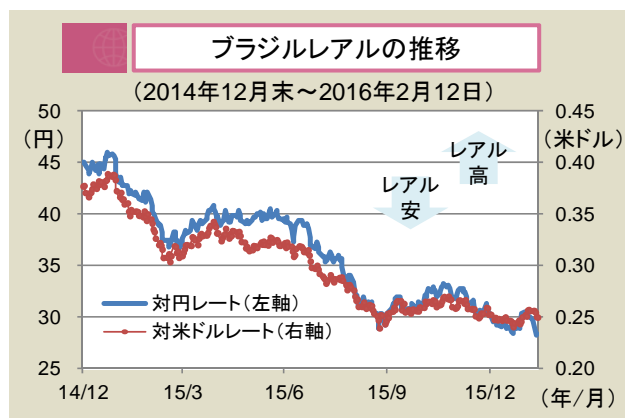
(前ページより続きます)



ブラジル

経済情勢の安定化が期待される

- 2015年はブラジル経済にとって非常に厳しい年となりました。政治的な混乱などから通貨リアルは急激な下落に見舞われ、足元では過去最低の水準となりました。しかし通貨の下落により、同国の貿易収支は黒字へと転換し、今後も更なる改善が期待されます。またこれによって経常赤字も大幅な減少が見込まれており、2016年は直接投資の流入額が経常赤字を上回るとみられます。こうした経常収支の改善は通貨の安定につながると期待されます。
- 足元ではインフレ率が上昇していることから、中央銀行はインフレ抑制のための金融引締策を維持しています。また、エネルギーや公共交通などの政府管理価格は今後の低下が予想されているため、インフレは徐々に沈静化するとみられ、金利低下に伴って同国債券の投資妙味は高まるものと考えます。
- しかしながら、ブラジルは政治的な不透明感から信用格付の引き下げが行なわれる可能性があります。そのため、慎重に今後の動向を注視していきます。



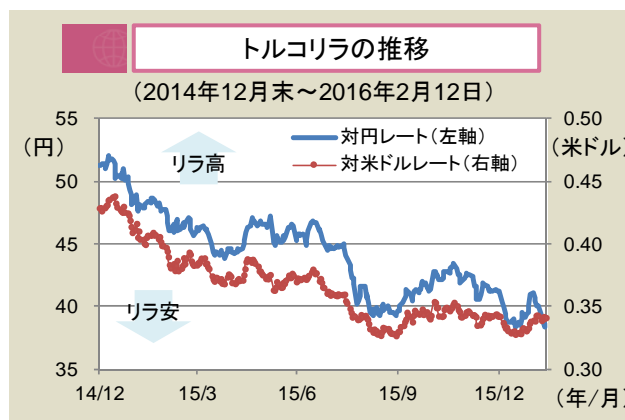
※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。



トルコ

景気回復の勢いを継続

- 2015年11月に実施された総選挙において、与党の公正発展党が予想外の勝利を収めたことは、政治リスクの低下から市場に好感を持って迎えられました。また、経常赤字の削減や、経済指標が力強い結果を示していることは、トルコの景気回復の勢いが継続していることを示しています。
- 中央銀行は米国の利上げに対し、追従した金融政策をとる可能性があり、これは通貨にとって上昇要因となります。また、同行は金融政策の簡素化を図っており、これが実現すれば市場での評価は高まるものとみられます。
- いまだ不安定さが残る同国の政治情勢や、ロシアとの政治的衝突などの地政学リスクについては、引き続き動向を注視します。



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

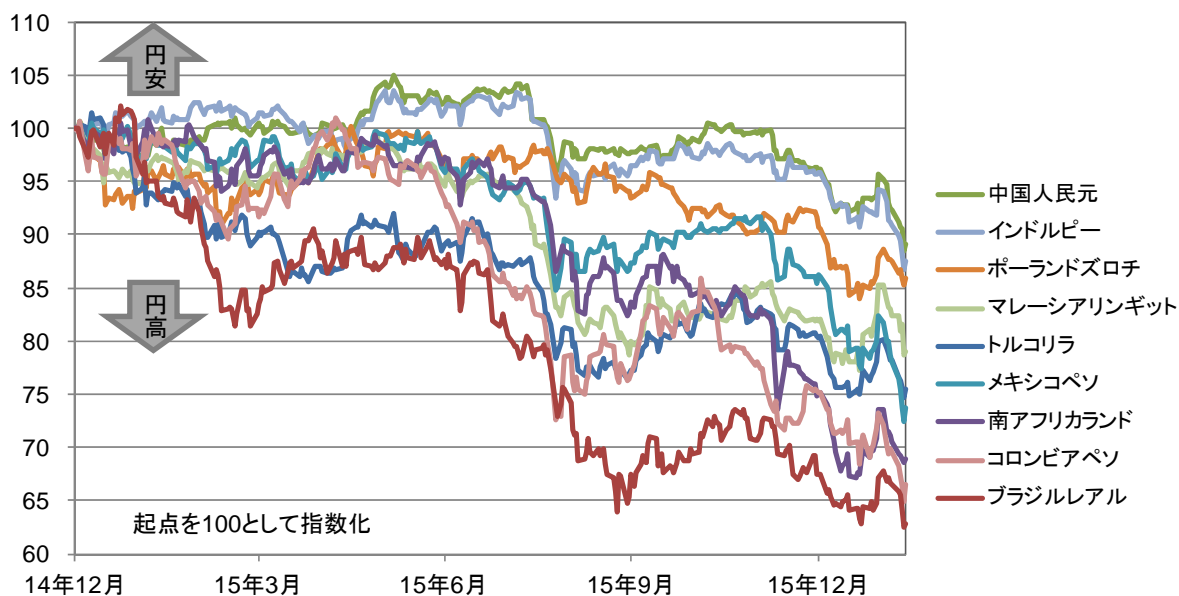
上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

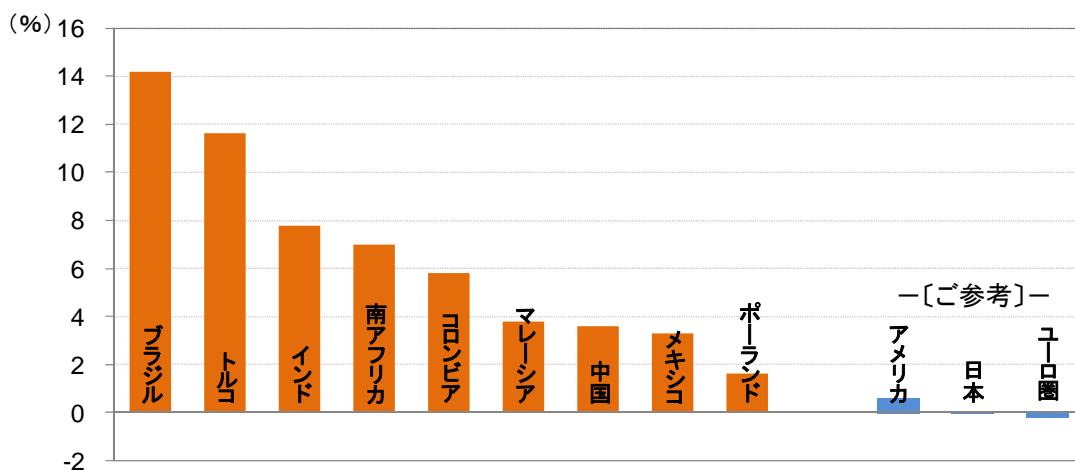
**(ご参考) 為替相場の推移と金利水準**

World  
Supporter

投資通貨の為替相場(対円レート)の推移 (2014年12月末~2016年2月12日)



投資通貨の短期金利(3ヵ月物) (2016年1月末現在)



※ 上記は、2016年1月末時点で当ファンドが投資を行なう通貨の為替相場(対円レート)の推移および金利水準を示しています。  
 ※ 上記は過去のものであり、掲載通貨建て債券の将来の組入れを約束するものでも、推奨するものでもなく、また将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※ 上記の金利水準は、実際の組入債券のものとは異なります。  
 ※ 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q4. 今後の見通しについて教えてください

World  
Supporter

### 新興国経済の安定に伴う投資魅力の高まりに期待

- 2015年は、多くの新興国通貨が下落し、一部の国では物価調整後の実効為替レートが過去最低水準となりました。このことは各国に**経常収支の大幅な改善**をもたらしており、赤字額の減少につながっています。
- 一部の新興国では政策金利の引き上げが行なわれており、高水準にあるインフレ率は2015年をピークに今後低下していくものとみられます。そうした国では金利の低下から**債券価格の上昇が期待**され、投資妙味が増すと考えられます。
- 足元では、米国の利上げや新興国経済の減速懸念などを背景に、新興国からの過剰な資金流出が継続しています。しかし、我々は2016年の後半にかけて、**世界の経済成長は加速する可能性**があるとみており、そうした場合、相対的に高い利回りや通貨の上昇期待など、**新興国債券の投資妙味が高まる**と考えられます。
- 現在のように、多くの投資家が新興国への投資を抑制している状況に鑑みると、今後新興国に関する好材料が出た場合に**市場心理は大きく変化**すると予想されます。当ファンドでは、そうした投資機会を的確にとらえ、安定した収益を確保することをめざして今後も運用してまいります。

- 海外債券投資において、パフォーマンスをけん引する要因の一つに債券のインカム収益が挙げられます。当ファンドが投資対象とする新興国通貨建て債券は、**相対的に金利水準が高く、中長期的なインカム収益の積み上げ**が期待できます。
- 当ファンドは高い信用力を持つ世界銀行債券を投資対象とするため、**信用リスクを抑えながら**相対的に高いインカム収益を獲得することが期待できます。また、**金利変動リスクを抑制**するため、短期債券を中心に投資を行いません。

### 主要投資対象ファンド\*のポートフォリオ特性値 (2015年12月末現在)

ポートフォリオの最終利回り	7.00%
ポートフォリオの直接利回り	4.68%
ポートフォリオの平均残存年数	1.19年

\* 「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」

- ※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q5. 分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がいいですか

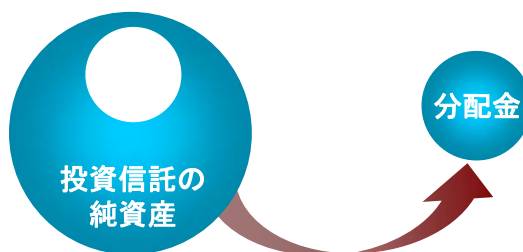
World  
Supporter

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者(投資者)の皆様へ、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

ファンドで得られた収益などをどのように配分する(分配金として支払う/内部留保として投資に振り向ける)かは、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い/少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、基準価額の変動額と受取分配金を合わせた総合的な投資収支(=トータルリターン)をもって行なうことが、重要であると考えます。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



※上記はイメージ図です。

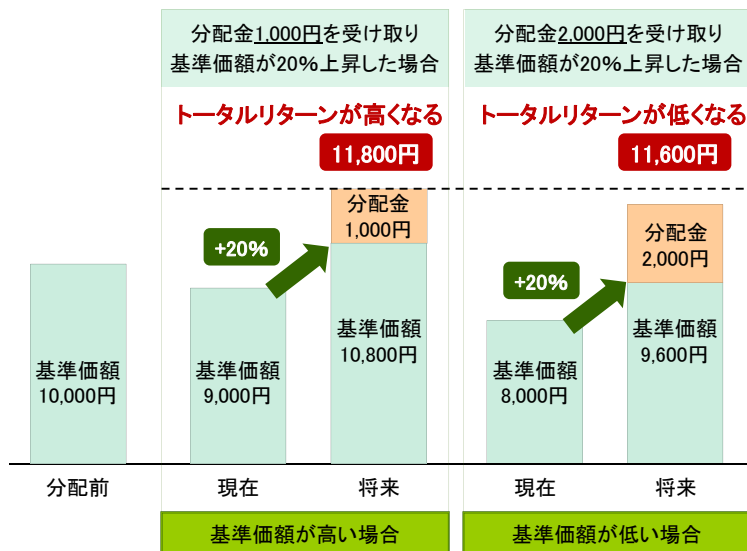
## Q6. 引き下げられた分の分配金はどこに行ったのですか

World  
Supporter

分配金額の違いによる基準価額上昇時のイメージ

分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。

そのため、投資資産の値上がりなどにより基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払い、基準価額が低い場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。



※上記はイメージ図です。



## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

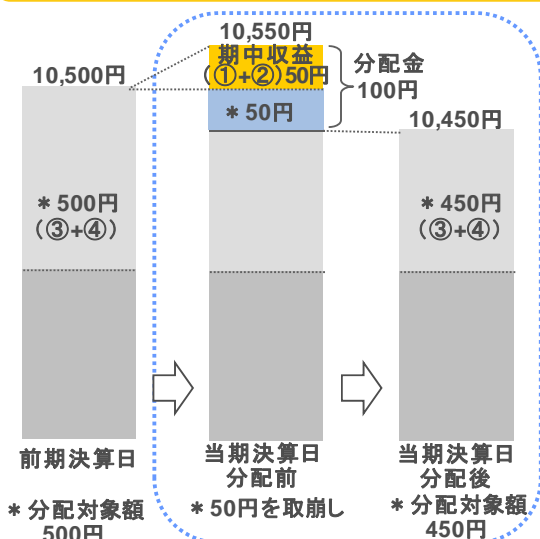
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



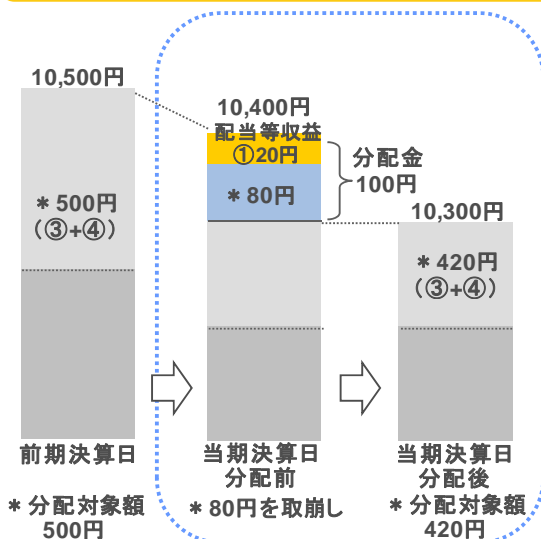
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

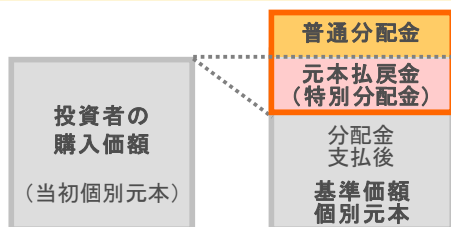


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

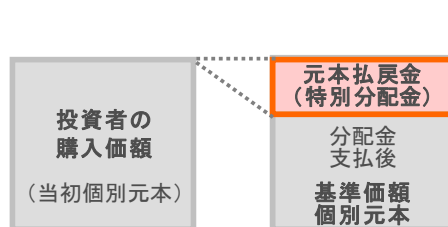
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ■お申込みに際しての留意事項

### 「リスク情報」

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### 「その他の留意事項」

- 当資料は、投資者の皆様は「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身で判断ください。

## ■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限(2007年6月21日設定)
- 決算日 : 毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い: 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.295%(税抜1.223%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。  
当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。  
それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。  
詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

受託会社 : 野村信託銀行株式会社

販売会社 : 販売会社については、下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称:「ワールドサポーター」へのご理解を高めたい」ということを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。